



つねとみ

※「つねとみ」カラー版は恒富小ホームページでご覧いただけます。

朝のあいさつ頑張ります！

「朝のあいさつを頑張る」ということですが、保護者の皆さんの中には、「あいさつをするのは当たり前前で、別に頑張ることではない」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、小学生の段階ではまだまだ不十分ですし、今後中学、高校、社会人と成長する上であいさつは必ず必要とされるもので、あいさつができなくて是一般社会でうまくやっていけないことが多いです。

児童会でもあいさつを中心に話し合い、今は「立ち止まってあいさつ」を全校で目指しています。そうですね、私が思うに、

全校児童で今できているの【朝のあいさつ運動】は全体の45%くらいです。まだまだこれからなのですが、辛抱強く指導していきたいと思えます。

ところで、私は2年以上毎日、校門に立ってあいさつ運動をしながら思うことがあります。それは子どもたちのあいさつのことではありません。一般の大人の人たちのことです。朝の通学、通勤時間ですので、小学生以外にも何十人という人が校門の前を通ります。高校生も多いですが、感心なことにみんなよくあいさつをします。延岡の高校生はちゃんとしているなあと思えます。



【おはサンとあいさつ応援団】

機械的にあいさつする人、小さい声であいさつする人、私と目を合わせることもなく頭だけくっとする人、残念ながらあいさつを返さない人もいます。もちろん、私もあいさつを返してほしいからしているわけではありませんが、しない人はどんな気持ちなのかなあと思えます。まあ、町中で知らない人にあいさつされたらびっくりして、返さないことはあるかもしれません。しかし、私は毎朝、同じ場所でのあいさつですからね。もしかして、よく議員さんなどが、朝の交差点であいさつをされているのを見ることがありますが、そんなイメージで私を見て、「ああ、この人はここでみんなにあいさつしてるんだ」と思っているかもしれませんね。でも、私は思うんですが、この人はこの後、職場について仕事場の皆さんとどういうあいさつをするのかなあ。笑顔であいさつしてるならいいですけどね。いらんお世話ですが、ちょっと心配です。やはり、あいさつは人と人とのコミュニケーションで一番大事なものだと思えます。そういうことも考えながら、今後も恒富小の子どもたちと元気のいいあいさつができるように頑張っていきます。よろしくお願ひします。



【朝のあいさつ運動】

様々な行事から

夕刊デイリーにも掲載されましたが、6月6日(火)に5・6年生プール開きがあり、その後全学年で水泳指導が行われています。まだ少し寒いようですが、子どもたちは一生懸命頑張っています。水泳が苦手な子にとってはきついかもかもしれませんが、水泳は命に関わることなので、先生たちの指導を受けながら、ぜひ泳げるようになってほしいです。



【1年生のプール開き】

1・2年生が生活科でいももの苗を植えました。子どもたちに教えてくださったのは、PTA副会長の久保田さんです。子どもたちは真剣に話を聞いて、ていねいに苗を植えていました。秋の収穫が楽しみです。しっかりお世話してくださいね。



【苗の植え方の説明】

6月の全校朝会の時に、今年も恒富小に「歯みがき戦隊ミガクンジャー」が現れました。むし歯の原因となるミュータンス菌をていねいな歯みがきなどでやっつけます。いつもですと職員がミガクンジャーに変身するのですが、今回は職員だけでなく保健委員会の6年生3名も変身して活躍しました。動きもセリフもバッチリで、さすが恒富小の6年生だなと思えます。子どもたちからも大人気でした。ちなみにミュータンス菌の役をした横山先生も1年生から人気があるようでした。



【ミガクンジャー参上】

6月2日(金)に全国児童歯みがき大会がありました。本校では毎年6年生が参加しています。学校歯科医の岡田先生が来てくださり、子どもたちに正しい歯のみがき方や歯間ブラシを使っての歯垢の取り方などを指導していただきました。特に今回は、歯垢に含まれる細菌を、顕微鏡を使って児童に見せていただきました。岡田先生によると歯垢1立法ミリメートルの中に約2億5千万~3億の細菌がいるそうです。実際に子どもから取った歯垢の中に細菌が動いていました。これは、しっかり歯をみがいて歯垢を取らないと大変！と6年生は思ったことでしょうか。6年生だけでなく他の学年も、それぞれの学年に応じた歯みがきの指導を行っています。一生使う歯ですので大事にしていましょ。



【歯間ブラシを使って】